

令和元年度 学校自己評価書 (川南町立東小学校)

(5段階評定 5:大変よい 4:よい 3:ふつう 2:少しよくない 1:よくない)

項目	評価指標及び具体的目標	方策・手立て	自己評価		結果の考察・分析及び改善策等
			項目	総合	
Ⅰ 町民総ぐるみによる教育の推進	1 学校や家庭、地域が一体となって取り組む教育を推進する。 ・地域の活性化や学校及び家庭の教育力向上につながるコミュニティ・スクールの実施 ・保護者や地域を巻き込んだあいさつ運動の活性化	・ 運営協議会委員や学校職員、PTA 役員との十分な協議を生かしたコミュニティ・スクールを推進する。 ・ PTA や交通指導員、学校の取組を連動させるとともに、具体的なあいさつ指導を丁寧に行う。	4.	2	4. 7
	2 家庭や地域の教育力の向上に努める。 ・学級懇談会への出席率各学級80%以上と内容の充実 ・早寝をする児童の割合85%以上 ・家庭教育学級の活用による、家庭教育力や家庭学習の向上	・ 学級役員との相談を生かして、学級懇談会の内容を工夫する。 ・ 早寝の実現推進のために、学校保健委員会の取組を工夫したり学級役員の働きかけを生かしたりする。 ・ 家庭の教育力向上につながる家庭教育学級を実施する。	5.	0	
	3 開かれた学校づくりを推進する。 ・年間7回の参観日の実施、充実 ・11月のオープンスクールの実施、積極的公開 ・学校教育の理解につながる学校便りとホームページの運用	・ 年間7回の参観日を、ねらいや年間の見通しをもつことにより、教科や内容のバランスの取れたものとする。 ・ オープンスクールを地域や保護者に早めに周知することにより、広く公開する。 ・ 月1回の学校便りや行事ごとに更新するホームページを発信することにより学校教育を理解していただく。	5.	0	
Ⅱ 生きる基盤を育む教育の推進	1 確かな学力を育む教育を推進する。 ア 学ぶ意欲の向上 ・学校生活アンケートにおいて、「学校で一生懸命勉強している」と答える児童の割合90%の維持 ・授業中手遊びがなく、学習活動に熱心に取り組む児童の割合90%の実現 イ 基礎的学力の定着 ・主要教科の単元テスト平均85%の得点率 ・年度末のCRTテスト、次年度の全国及び県学力テストの全国及び県平均以上の得点率 ウ 読書の習慣化 ・年間貸出冊数13,000冊程度と読書内容の向上	・ 共通理解と共通実践により、児童や保護者との信頼関係を生かした授業の実践をする。 ・ 午前中の5時間授業を集中力向上に生かす。 ・ 「東っ子スタンダード」を日々活用し、統一した指導を徹底することにより学習に臨む態度を鍛える。 ・ メンターチームによる初期研修を主軸とする校内研修により共通理解を図りながら、具施策の授業改善の視点を意識した授業実践をする。 ・ 「家庭学習の手引き」に沿った家庭学習の在り方を保護者に働きかけることにより学習内容の定着を図る。 ・ 月1回の6校中全職員で指導に当たることにより、3年生以上の習熟を図る。 ・ 町図書事務職員による図書館運営の活性化を促す。 ・ 学期1回のファミリー読書により、家庭読書の関心を一層高める。	4.	3	4. 3
	2 豊かな心を育む教育を推進する。 ア 思いやりのある児童の育成 ・学校生活アンケートにおいて「友だちに優しくしている」と答える児童の割合90%以上 イ あいさつの活性化 ・学校生活アンケートにおいて「元気なあいさつを進んでいる」と答える児童の割合90%以上 ウ 楽しい学校生活の保障 ・学校生活アンケートにおいて「学校が楽しい」と答える児童の割合90%以上 ・いじめゼロの実現	・ 特別の教科道徳における話し合いを通して豊かな心の育成を推進する。 ・ 特別な教科道徳の指導力向上を目指して研修を充実させる。 ・ 生徒指導の三機能を十分理解した指導により、児童の現在および将来の自己実現を図っていくための自己指導力の育成を常に図る。 ・ ソーシャルスキルトレーニングを生かし、具体的なあいさつ指導を適時、十分行う。 ・ PTA や地域と連携したあいさつ運動を展開する。 ・ 学校生活アンケートと教育相談を有効に活用、連動させることにより、嫌なことや困ったことを早めに相談、解決することができるシステムを活性化させる。	4.	5	
	3 健やかな体を育む教育を推進する。 ア 基礎体力の向上 ・体力テストにおける本校の課題である柔軟性のTスコアが50以上となる学年が3/6 イ よい生活リズムの習慣化 ・学校生活アンケートにおいて「早寝」をしていると答える児童の割合85%以上 ウ 健康増進の意識の高揚 ・歯菌治療率80%以上	・ 体育の時間や昼休み時間等の運動量を十分確保する。 ・ 体育科学習カードや体力アップカレンダーを活用することによって、主体的な体力向上の取り組みを促す。 ・ 学年に応じた就寝時刻やメディアとの接し方の基本的ルールを児童と共通理解するとともに保護者への啓発を図る。 ・ 学校保健委員会の充実及び学級懇談会や各種たよりの活用により家庭との連携を深める。 ・ 歯菌治療が進まない家庭への個別の働きかけをする。	3.	9	
	4 共生社会を目指す特別支援教育を推進する。 ・全ての児童に人権感覚を身に付けさせること ・すべての児童に対する合理的配慮を行うこと	・ 特別支援教育コーディネーターを中心とした組織マネジメント機能を生かすことにより、外部の専門機関と十分つながる。 ・ 保護者の思いや個別の指導計画、個別の支援計画を十分に生かす。 ・ 人権教育に係る授業参観を年間1回実施する。 ・ 日々の適切な支援や合理的配慮についての研修会を行う。	4.	6	
Ⅲ 自立した社会人・職業人を育てる教育の推進	1 ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育を推進する。 ・ふるさとを理解しふるさとに愛着をもつ児童の姿 ・総合的な学習の時間において、地域の方から指導していただく学習の各学年での実施(3年生以上)	・ 総合的な学習の時間を中心として、地域人材を積極的に活用することにより、東小校区の中心産業や保護者・地域の人々の願いを理解させる。 ・ 総合的な学習の時間において、地域の方から指導していただく学習を各学年計画的に実施する。 ・ 町歌の斉唱(入学式、卒業式、運動会、月の歌)	3.	0	3. 1
	2 キャリア教育を推進する。 ・学ぶ意義を理解して勉強に取り組む児童の姿 ・総合的な学習の時間において、地域の方から指導していただく学習の各学年での実施(3年生以上)	・ 自立するために身につけなければならないことを講師に話してもらおう。 ・ 総合的な学習の時間において、地域の方から指導していただく学習を各学年計画的に実施する。	3.	2	
Ⅳ 境の整備 充実	1 教職員の資質向上に努める。 ・服務規律違反ゼロ ・本年度特に取り組む、国語科、算数科、道徳科の授業力の向上	・ 服務規律遵守の意識の高揚のための適時のコンプライアンス研修会や日々のお互いの声かけを行う。 ・ メンターチームによる初期研修を主軸とする校内研修の実施を、国語科、算数科、特別の教科道徳の授業を中心に計画的に行う。	4.	0	4. 5
	2 学校における安全、安心の確保に努める。 ・児童の事故(交通、水難等)や校内での大きなけがゼロ ・アレルギー対応のミスゼロ	・ 交通教室、避難訓練、安全点検を計画的に実施する。 ・ 適時の徹底した安全指導や保護者との連携により児童の事故(交通、水難等)を未然に防ぐ。 ・ 校内の危険箇所の事前発見や早期修理を徹底する。 ・ アレルギー対応のマニュアルの完全実施と管理職による安全確保の確実な見届け	5.	0	